

笑媛から始まる絆づくり！ ～無限の可能性を秘めた子どもと共に～

第64回中国・四国地区高等学校 PTA 連合会大会愛媛大会

令和4年7月26日（火）愛媛県松山市にある「県民文化会館」において第64回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会(愛媛大会)が開催されました。コロナ感染の影響を受け、急遽取りやめた学校もありましたが、本県から、高P連、県教委、13校37名の皆さんで参加することができました。

本来、愛媛大会は、平成30年度に開催される予定でしたが、やむを得ない事情により中止しなければならないことがありました。しかし、紆余曲折を経て、中四国では3年ぶりの開催ということや、様々な準備や連絡の遅れなどある中で、見事に乗り越えた大会となりました。

高P連としては、愛媛大会の流れや動きを教訓としつつ、令和6年高知大会の開催に向けて、4名の方に視察員をお願いいたしました。

(高野和幸=高知国際高校長、橋本万里子=岡豊高校教頭、柳井知雄=春野高校教諭、久保雅裕=高P連副会長) (敬称略)

皆さんからの「視察報告書」の中から、抜粋して一部を紹介します。



【大会運営について】

- 会場手前道路～駐車場入口～会場入口～会場内にと統一されたビブスを着用したスタッフが配置され、渋滞を避ける工夫がよかった。
- 会場への入り口が複数あり、それぞれの入り口で検温する体制ができており、また、座席指定も各団体に事前に通知されていたので円滑な受付ができていた。
- ホールの入場する際にも、案内役の保護者が要所要所に配置されていたので、スムーズな誘導がされていた。
- 高知では、会場が狭いため、目印となる掲示物を大きくし、県ごとに入場路を指定することや、県内参加校の入場を早めるなど、入場時の混乱を避ける必要がある。
- 昼食場所を指定し、各県の代表者が代表して弁当を受け取る配付方法はスムーズで良かった。
- 司会はプロのアナウンサーをお願いするほうが良いのではないのでしょうか。



【講演、発表及び研究協議など】

●講演については、「今治からの挑戦」と題してということで、大会テーマに沿った内容で大変良いものでした。特に、理念、ビジョン、信念、心の豊かさ、信頼、共感など理解することができ、いくつになっても夢を語り続ける事が大切なのだと感じました。



●研究協議では、いずれの実践においてもコロナ禍の中で思うような取り組みができなかったことをあげていました。確かにそのとおりですが、コロナ禍だからの問題だけだろうか。PTA活動が過渡期を迎えている今、このことを真正面から議論することも、研究協議の中では必要であると感じました。



●高校生による発表では、「愛媛県内の高校魅力化の取組」として、生徒自らが発表していました。すべての生徒がキラキラと輝いて見え、堂々と自信をもって発表している姿がとても印象的でした。しんどい思いを抱えている子どもが、もう一度自分を取り戻そうとする実践発表は、感動的であったし、高校再編問題を抱える本県としては令和6年の高知県での開催時には必要な視点ではないでしょうか。

●会場内には、おもてなしブースが設けられており、コロナ禍で観光も不自由を強いられている中、笑顔で商品の説明や販売をしてくれたことは大変心が和みました。

●質疑応答の時間はもう少し必要だと思いました。

●各学校の取組紹介のパネル展示があればとも思いました。

